

公益社団法人空気調和・衛生工学会の沿革と
北信越支部設立45周年までの歩み

西 暦 (年号)	概 要	
	本 部	北 信 越 支 部
1917年 (大正6年)	“暖房冷蔵協会”として創立（7月28日、会員数約150名） 事務所：東京市京橋区山城町15番地 会誌『暖房冷蔵協会誌』を発刊	
1923年 (大正12年)	関東大震災（T12.9.1 11:58 M7.9）のため、事務所を東京帝国大学工学部図書室に移転	
1927年 (昭和2年)	商工省（現通商産業省）より法人化の認可を受け、“暖房冷蔵協会”を“社団法人 衛生工業協会”と改称 英文名称 The Society of Domestic and Sanitary Engineering	
1932年 (昭和7年)	創立15周年記念式典	
1942年 (昭和17年)	創立25周年記念式典	
1948年 (昭和23年)		福井地震（S23.6.28 16:13 M7.1）
1953年 (昭和28年)	創立35周年記念「生活文化産業大博覧会」開催（日比谷）	
1955年 (昭和30年)	設備士資格検定試験制度設置	
1956年 (昭和31年)	第1回設備士資格検定試験実施	
1962年 (昭和37年)	通商産業省より文部大臣専管法人に移管、“社団法人 空気調和・衛生工学会”へ改組 (The Society of Heating, Air-Conditioning & Sanitary Engineers of Japan)	
1963年 (昭和38年)	近畿支部設立（S38.4.7）	
1964年 (昭和39年)		新潟地震（S39.6.16 13:01 M7.5）
1965年 (昭和40年)	九州支部設立（S40.11.6） 北海道支部設立（S40.11.20）	
1966年 (昭和41年)		4月 「設備士会北信越支部設立趣意書」を本部宛てに10名の発起人により提出 7月 空気調和・衛生工学会設備士会北信越支部設立 設立時の各県設備士会員数 長野21名、石川県15名 新潟県8名、富山県6名、福井県4名

1967年 (昭和42年)	創立50周年式典 中部支部設立 (S42.11.11)	
1968年 (昭和43年)	十勝沖地震 (S43.5.16 9:48 M7.9) 被害調査実施	社団法人空気調和・衛生工学会北信越支部 設立の機運が高まり、設立準備委員選任
1969年 (昭和44年)	「設備士会」解散。日本建築設備士協会設立	
1970年 (昭和45年)	北信越支部設立 (S45.8.29)	1月 設立準備委員会により支部規則、そ の他文書作成に着手 8月 設立が認証され北信越支部創立 北信越支部設立総会 8月29日 (土) 新潟県直江津市(現上越市)「わくら 楼」にて開催 設備士会員数 138名 長野県48名 新潟県24名 石川県38名 富山県17名 福井県11名
1973年 (昭和48年)	東北支部設立 (S48.5.12) [これにより全国 7支部体制となる]	
1977年 (昭和52年)	事務所を東京都新宿区北新宿区1-8-1 -中島ビルに移転 (現在に至る) 創立60周年式典	
1983年 (昭和58年)	建築士法改正による建築設備士資格制度が 創設される	
1987年 (昭和62年)	創立70周年記念式典 「日本建築設備士協会」を「日本空調衛生設 備士協会」に名称変更	
1989年 (平成1年)	「日本空調衛生設備協会」を解散、同時に「社 団法人建築設備技術者協会」が発足	
1993年 (平成5年)	近畿支部設立30周年記念式典	
1995年 (平成7年)	阪神大震災 (H7.1.17 5:46 M7.3) 設備被害調査	
1997年 (平成9年)	創立80周年記念式典 中部支部設立30周年記念式典	
2003年 (平成15年)	技術フェロー制度設置	
2004年 (平成16年)		北信越支部設立35周年記念総会 (H16.5.21) (長野市：メルパルク長野郵便貯金会館) 中越地震 (H16.10.23 17:56 M6.8)
2007年 (平成19年)	創立90周年記念式典	能登半島地震 (H19.3.25 9:41 M6.9) 中越沖地震 (H19.7.16 10:13 M6.8)
2011年 (平成23年)	東北太平洋沖地震 (H23.3.11 14:46 M9.0)	
2012年 (平成24年)	公益社団法人空気調和・衛生工学会の認定 を受け移行する (平成24年4月1日)	
2013年 (平成25年)	東北支部40周年記念式典 近畿支部50周年記念式典	